

# カタクリバスツアー 参加者募集中



今年も柿の里バスに乗って

カタクリの花を観に行きましょう



【開催日】 集合場所・時間：「赤岩口」バス停 10：50 集合

平成31年3月18日(月)、20日(水)、22日(金)、25日(月)、27日(水)、29日(金)

※各日定員8名程度先着順です。(雨天中止)

※上記6日間は現地でガイドが案内いたします。予約が必要です。

※参加費 無料 ただし、赤岩口⇄城山の往復のバス代800円が必要です。

※柿の里バスはコミュニティバスですので一般のお客様と同乗です。

## 【ツアー行程】

11：00 赤岩口バス停 柿の里バスに乗車

12：10 城山バス停下車

カタクリ山で昼食

カタクリ、ヒロハノアマナ、五色の椿、

お滝公園など鑑賞、散策

14：13 城山バス停 柿の里バス乗車

15：30 赤岩口バス停下車後自由解散

カタクリ



## 【お願い】

- 丁度お昼になりますので、弁当やお茶を用意してください。(売店等はありません)
- 動きやすい服装でお越しください。
- カタクリ山の遊歩道は急な場所がありますので、杖などがあれば便利です。
- その他個人的に必要なものはお持ちください。

## 【柿の里バス情報】

カタクリバスツアー以外の日は予約の必要はありません。

また、カタクリ山の周辺は4月中旬までピンクの桃、白い梨の花が咲きます。カタクリバスツアー終了後も平日に柿の里バスに乗って観賞・散策に出かけることができます。その際には、「赤岩口」で乗車のときに運転手へ「14：13 城山発のバスに乗る」と必ずお伝えてください。



ヒロハノアマナ

カタクリの花は3月中旬から咲き始め下旬には満開になります。  
ヒロハノアマナは白い可憐な花で、カタクリより早く咲きます。

【申込先】 豊橋市 都市交通課 交通対策グループ

電話 0532-51-2620

受付は3月1日より開始します。なお、お申込は各開催日の前日(土・日・休日は除く)までにお問い合わせします。

・豊橋市都市交通課

・石巻・下条地域交通推進委員会



## カタクリ

カタクリはユリ科カタクリ属の多年草です。花言葉は「初恋」「寂しさに耐える」。夏は日影を好み、冬は陽当たりが良い場所を好みます。

そのためこのカタクリ山も夏は葉が茂り日陰になり、冬は落葉する「栗の木」が植えてあります。

早春に 10cm ほどの花茎を伸ばし、薄紫から桃色の花を先端に一つ下向きに咲かせます。見頃は3月の中旬の2週間ほどで、遊歩道も整備されています。

尚、鑑賞するときは「柵」から中に入らないでください。

## ヒロハノアマナ

ヒロハノアマナもユリ科アマナ属の多年草です。花言葉は「運が向いて来る」。日本固有種で、本州の関東地方から近畿・四国地方に分布し、草地や疎林の下に生育します。

白い小さな花ですし、葉も小さいですが中央の脈に沿って白い筋が入っています。葉の幅が 1~2cm で広いことからヒロハノアマナ(広葉の甘菜)という名前がつけられたそうです。カタクリよりやや早くから咲きます。

## カタクリ山

カタクリの咲くカタクリ山は通称「城山」とも呼ばれています。また辺りの字名、柿の里バスの停留所の名前もこの「城山」から名付けられたと思います。

この山は「西川城」の跡地であり、戦国時代末期に西郷清員が築城したとされています。現在も周囲には、「主郭」「魯台」「堀切」「虎口」「土塁」の跡と思われるものが残っています。

また、清員の養女「お愛」は徳川家康の側室となり、「二代将軍 徳川秀忠」の生母で「西郷局」と崇められました。

カタクリ山から眺めると「本宮山」「第二東名」も見えます。下を見ると「柿畑」の中に「桃の赤い花」も、また「梨の白い花」は4月中旬までが見頃です。

## 五色の椿

大福寺の本堂前に咲く「オトメツバキ」は「五色の椿」とも呼ばれ、「豊橋の巨木・名木100選」にも選ばれています。樹齢は350年の老木で、1本の樹から5色の花が咲き淡いピンクに、濃いピンクの斑が入った花は大変珍しいです。

樹高約8m、幹回り1.8m、枝張り8mあります。

## 郷道川の滝

郷道川の河口から700mほど上流にある「郷道川の滝」は「落差が5mほど」、50年ぐらい前まではすぐ上流に「前田池」があり、落差も今より高かったように思います。現在は「お滝公園」と名前が変わり、「水辺リフレッシュ事業」により数々の植物が生息し、駐車場・休憩所・ベンチなども備えられています。